# 北國大花火 川北大会

夏の夜空に大輪の花を咲かせた北國大花火川北大会＝川北町の手取川簡易グラウンド（多重露光）

1万8千発の光の芸術が夜空を焦がし、迫力ある音が手取川に響き渡った。1日夜、川北町で行われた第24回川北まつり北國大花火川北大会では、20号玉や仕掛け花火が次々と打ち上げられ、高さ45㍍の大かがり火とともに会場を幻想的な雰囲気に包み込んだ。大観衆は2千連発の乱れ打ちなど、光絵巻に心を奪われた。 【1面に本記】

開幕を告げる20号玉が大音響とともに直径約500㍍の花を咲かせると、観衆から歓声がわき起こった。全国の花火師が技術を競う「北國芸術10号玉」では、色鮮やかな大輪が夜空にきらめき、観客が匠の技に見とれた。

クライマックスの「あばれ川県民花火」では、7段階の打ち上げ方で2千連発を最後まで堪能できる工夫が凝らされた。出張で金沢を訪れた大会を知り、会場に足を運んだという大阪市の会社員藤尾裕昭さん（36）は「夜空がまるで光に彩られたカンバスのよう。圧倒された」と笑顔を見せた。

フィナーレは幅約160㍍の滝仕掛け「霊峰白山」が美しい稜線を描き、金銀2色の「空中ナイアガラ」が壮大な光のカーテンを描き出した。

同まつりはテレビ金沢、北陸放送、エフエム石川、金沢ケーブルテレビネットなどが後援した。

KCTとエフエム石川が生中継

川北大会の模様は、金沢ケーブルテレビネットと、エフエム石川が生中継した。

## 「星降るよう」迫力満点のベッド席

「あばれ川県民花火」の協賛者席には、今年からサマーベッド席が設けられ、観客が横になって夜空に咲く大輪の花火を眺めた。富山市の会社員杉本紘さん（30）は「流れ星が空から降ってくるようで迫力満点だった」と笑顔を見せた。

このほか、家族やグループでテーブルを囲んだり、カップルがペアシートで仲良く光の祭典を楽しむ姿も見られ、思い思いに夏の風物詩を満喫した。

# 光絵巻

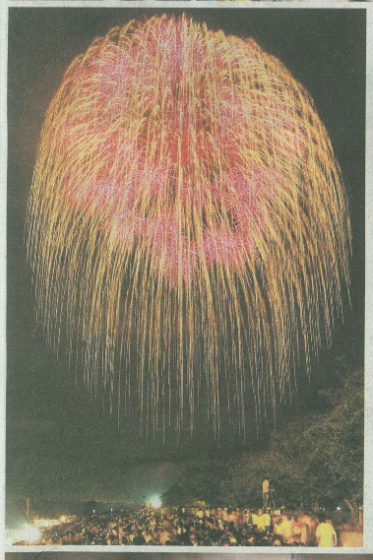


# 遠くから見ても圧倒

夜空に広がった光の芸術を楽しむ来場者＝川北町の手取川簡易グラウンド

会場から約2㌔離れた白山市島田町付近では住民や車で訪れた愛好家らが列を連ね、夜空のショーに見入った。同町内会は毎年、川北大会に合わせてバーベキューを開催しており、住民約150人が集まった。小西重之町会長（66）は「ここから見てもきれい。花火を通じて世代を超えた町内の輪が広がっている」と笑顔を見せた。

同じく会場から約2㌔の距離にある能美市物見山運動公園にも見物客約200人が訪れた。花火が夜空に輝くたびに見物人は沸き返り、一瞬の美に酔いしれた。夫婦で訪れた地元に住む中田平喜さん（52）は「遠くからでも圧倒される ほどの迫力。十二分に楽しめた」と満足そうだった。



北國大花火川北大会の開幕を告げた20号玉の花火＝1日午後8時15分

## 天焦がす大かがり火

夜空を焦がした高さ45㍍の大かがり火＝川北町の手取川簡易グラウンド

メーン行事「音と光の祭典」では、高さ45㍍の大かがり火が夜空を焦がすように燃え上がり、迫力ある火柱に会場はどよめきと歓声に包まれた。

手取元龍太鼓の演奏や地元住民による送り火の入場などに続き、西田耕豊町長、田中庄治同まつり実行委員長、温井伸北國新聞社常務、稲垣渉テレビ金沢社長、中島克後エフエム石川社長が点火。パチパチという音とともに炎は一気に駆け上がり、火の粉を散らして パワーを照らした。金沢市の会社員林典子さん（25）は「力強く燃える大かがり火は圧巻だった」と興奮気味に話した。

美しい稜線を描く仕掛け花火「霊峰白山」

## 「町民の協力で成功」

西田耕豊町長は観客席からまつりを見守り、「町民の協力を得てまつりを無事成功させることができた」と感謝した。町内ではまつり前に町民が総参加で会場周辺を清掃し、2日も早朝から清掃に汗を流す予定という。

# 夏の宴